















میں آ

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム



受講生募集!

どんなプログラム?



これからのデジタル社会の「読み・書き・そろばん」といわれる数理・データサイエンス・AIについて、半期1コマで、イチから学ぶことができるプログラムです。

文系・理系に関わらず、数理・データサイエンス・AIのリテラシー(知識や活用力)を身に付けることができる内容となっています。

こんな人にオススメです!

- 数理・データサイエンス・AIについて全く知らないが、今後社会で理解・活用していかなければならないことを思うと不安だ。
- AIなどについて、特定のツールは使ったことがあるが、その背景や価値、気を付けるべきことなどについて、詳しく学んだことはない。



※本プログラムは、ポータルの履修登録システムとは別に、履修抽選応募を行います。

【応募締切】 4月4日(木) 17:00まで







詳しくはウラ面を ご覧ください



Q 数理・データサイエンス・AI教育プログラムの詳細

本プログラムは、「特殊講義」という授業名で開講します。 ※授業の詳細は「特殊講義」のWebシラバスを参照

- 本プログラムによって「特殊講義」の単位を修得すると、商学科の方は専門教育科目として、それ以外の学科の方は 自由科目として、卒業要件に算入することができます。
- 前期・後期であわせて4クラスを開講します。自分の時間割上で空いている時間のクラスを応募することができます。

① 前期・水曜・3時限目 ② 前期・木曜・2時限目

③ 後期・水曜・3時限目

④ 後期·木曜·2時限目

本プログラムの授業内容は、文部科学大臣が認定・選定する数理・データサイエンス・AI教育プ ログラム認定制度(リテラシーレベル)のプログラム認定要件に準拠しています。

本プログラムによって身に付けられること(達成目標)

- 数理・データサイエンス・AIが社会変化へ寄与しており、自らの生活に結びついていることを理解する。
- 数理・データサイエンス・AIが社会課題を解決する有用なツールになりうることを理解する。
- 数理・データサイエンス・AIが様々な適用領域の知見と組み合わせることで、価値を創出するものである ことを理解する。
- 数理・データサイエンス・AIの活用における様々な留意事項を理解する。
- 実データから、データを読む、説明する、扱うことができるようになる。

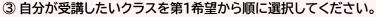




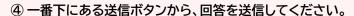
□ 受講応募の流れ (応募締切:4月4日(木) 17時)

オモテ面または右のQRコードから、Googleフォームに回答することで応募してください。

- ① オモテ面または右のQRコードを読み取ってください。
- ② 大学Gmailアドレスを使ってGoogleアカウントにログインし、応募フォームを開いてください。
 - ➤ Googleアカウントのログイン情報は、入学時に配布された「パスワード通知書」(ハガキ)に記載されてい ます。Gmail(メインメール)のメールアドレスおよび初回ログイン用仮パスワードを確認してください。
 - ▶ Gmailに関する詳細は、ICTリテラシーガイダンスで説明があります。



- ▶ 最大で第4希望まで応募することができます。自分の時間割を計画する上で、他の授業と被らずに履修 可能なクラスを応募してください。
- ▶ 応募した曜日時限と同じコマに、学科の必修科目などのあらかじめ履修が決まっている授業科目がある 場合は、そちらの履修が優先されます。また、クラス登録科目よりこちらの抽選結果が優先されます。



- ➤ 回答した内容は、大学Gmailアドレスに送信され、応募締切までは何度でも変更することができます。
- ▶ 当選すると「特殊講義」が履修登録されます。結果は履修本申請の際に確認してください。





▶ 注意事項

履修人数の制限について

- 履修できる人数に限りがあるため、応募者が多い場合は抽選となります。
- 履修における公平性を期すため、抽選により履修することが決まった場合、後から履修を取り消すことはできません。

自由科目として卒業要件に算入できる上限について

- ・ 商学科以外の学科の方は、修得した単位を自由科目(他学科授業科目)として卒業要件に算入することができますが、 それぞれの学科で卒業要件に算入できる単位数の上限が決まっています。上限はハンドブック等から確認できます。
- 商学科の方は、自由科目の卒業要件算入上限と関係なく、専門教育科目として卒業要件に算入されます。

本プログラムの受講対象者について

本プログラムの対象は2024年度の新1年生です。在学生や新編入生については対象となりません。



本プログラムについて何かわからないことがある場合は、以下までお気軽にお問合せください。

【お問合せ先】 大阪産業大学 学長企画室 内部質保証推進課 Email: iga-ijmu@cnt.osaka-sandaj.ac.jp